



平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月14日

上場会社名 AOI TYO Holdings株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3975 URL http://aoityo.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 吉田 博昭
 中江 康人
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 譲原 理 (TEL) 03-3779-8415
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日 配当支払開始予定日 平成29年9月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	33,729	—	2,358	—	2,305	—	1,189	—
28年12月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 1,211百万円(—%) 28年12月期第2四半期 ー百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
29年12月期第2四半期	50.	15	49.	40
28年12月期第2四半期	—	—	—	—

(注) 当社は平成29年1月4日設立のため、前年同四半期の係数及び対同四半期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	52,269	24,193	44.4
28年12月期	—	—	—

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 23,218百万円 28年12月期 ー百万円

(注) 当社は平成29年1月4日設立のため、前年度の係数は記載していません。

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
28年12月期	—	—	—	—	—	—
29年12月期	—	8.00	—	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	20.00	28.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	66,000	—	4,100	—	3,800	—	1,850	—	77.	96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は平成29年1月4日設立のため、対前期増減率は記載していません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期2Q	24,566,447株	28年12月期	一株
② 期末自己株式数	29年12月期2Q	657,145株	28年12月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期2Q	23,729,742株	28年12月期2Q	一株

(注) 当社は平成29年1月4日設立のため、前年同四半期及び前年度の係数は記載しておりません。なお、自己株式数については、「株式給付信託(BBT)」制度に係る信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有している274,500株を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報、添付資料3ページ(3) 連結業績予想等の将来予測に関する説明」をご覧ください。

・当社は、平成29年9月1日(金)に機関投資家及びアナリスト向け決算説明会を開催いたします。説明会で配布する資料は説明会当日に、動画は説明会後速やかに当社ウェブサイトにて掲載する予定です。また、上記説明会のほか、個人投資家の皆様向けにも説明会を開催いたします。

・当社は、共同株式移転の方法により、平成29年1月4日付けで株式会社A0I Pro.と株式会社ティー・ワイ・オーの完全親会社として設立されました。なお、当連結会計年度が第1期となるため、前期実績及び前年同四半期実績はありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は共同株式移転の方法により、平成29年1月4日付で株式会社AOI Pro. 及び株式会社ティー・ワイ・オーの完全親会社として設立されました。なお、当連結会計年度が第1期となるため、前連結会計年度及び前第2四半期連結累計期間との対比は行っておりません。

なお、文中の将来に関する事項は、当第2四半期連結累計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続く中、企業収益や雇用情勢は改善し、株価は堅調に推移し、消費者マインドには持ち直し傾向が見られました。一方で、海外経済の不確実性等に起因した下振れリスクが意識される状態が続きました。

当社グループが事業を展開している国内広告市場(※)においては、平成29年に入っても広告業売上高は概ね堅調に推移していますが、その中では、テレビをはじめとする従来型メディアを通じた広告が横ばいまたは減少気味である一方で、インターネット広告が高い伸びを示す傾向が続いています。

このような環境の下で、当社グループは、事業規模拡大を図り強みを持ち寄ることによるシナジー効果を創出するために、上記経営統合により平成29年1月4日に発足しました。改めて「メディア(媒体)の壁を乗り越えて企業と生活者を<感動>でつなぐことを使命とし、体験を通して心を動かしアクションにつなげる<感動創出企業>」として、持続的成長と企業価値向上を目指し、積極的な事業活動を推進しております。

新体制の下、当社グループは、主力の広告映像制作事業を中心に着実に受注を重ね、また成長戦略と位置づける体験設計事業(デジタル関連を含む)も堅調に推移しました。同時に、案件受注段階から厳格な精査・選別及び収益管理を徹底したことが、主力事業での利益面の改善に繋がりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高33,729百万円、営業利益2,358百万円、経常利益2,305百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益1,189百万円となりました。なお、販売費及び一般管理費には、M&Aによるのれん償却額152百万円が含まれております。

※ 特定サービス産業動態統計調査(経済産業省)によります。

当社グループの報告セグメントは、広告事業及び映像関連事業であります。映像関連事業の全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、52,269百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金7,584百万円、受取手形及び売掛金20,369百万円などの流動資産が35,025百万円、有形固定資産8,085百万円、無形固定資産4,886百万円、投資その他の資産4,272百万円の固定資産が17,244百万円であります。

負債は、28,075百万円となりました。主な内訳は、買掛金6,169百万円、短期借入金6,259百万円などの流動負債が20,371百万円、長期借入金2,374百万円などの固定負債が7,704百万円であります。

純資産は、24,193百万円となりました。主な内訳は、資本金5,000百万円、資本剰余金12,107百万円、利益剰余金6,410百万円などの株主資本合計が22,935百万円であります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、7,289百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

営業活動の結果使用した資金は、325百万円となりました。主な支出要因は、売上債権の増加2,782百万円、たな卸資産の増加1,070百万円であり、主な収入要因は、税金等調整前四半期純利益2,278百万円、前受金の増加1,354百万円であります。

投資活動の結果使用した資金は、944百万円となりました。主な支出要因は、有形固定資産の取得による支出459百万円、無形固定資産の取得による支出275百万円、投資有価証券の取得による支出135百万円であります。

財務活動の結果得られた資金は、433百万円となりました。主な収入要因は、短期借入れによる収入1,896百万円であり、主な支出要因は、長期借入金の返済976百万円、配当金の支払274百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年12月期通期の連結業績予想に関しては、本日別途公表いたしました「平成29年12月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	7,584,774
受取手形及び売掛金	20,369,984
商品及び製品	21,564
仕掛品	5,861,742
その他	1,214,661
貸倒引当金	△27,226
流動資産合計	35,025,500
固定資産	
有形固定資産	
土地	4,414,822
その他	3,670,691
有形固定資産合計	8,085,514
無形固定資産	
のれん	4,218,184
その他	667,993
無形固定資産合計	4,886,178
投資その他の資産	
投資有価証券	1,594,040
敷金及び保証金	1,313,337
その他	1,429,294
貸倒引当金	△64,028
投資その他の資産合計	4,272,643
固定資産合計	17,244,336
資産合計	52,269,836
負債の部	
流動負債	
買掛金	6,169,462
短期借入金	6,259,560
1年内返済予定の長期借入金	2,223,320
前受金	2,227,885
未払法人税等	1,088,379
賞与引当金	77,677
その他	2,324,865
流動負債合計	20,371,149
固定負債	
長期借入金	2,374,424
長期預り金	3,501,199
役員退職慰労引当金	280,735
役員株式給付引当金	79,105
退職給付に係る負債	287,651
資産除去債務	404,128
その他	777,543
固定負債合計	7,704,788
負債合計	28,075,937

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間
(平成29年6月30日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	5,000,000
資本剰余金	12,107,824
利益剰余金	6,410,284
自己株式	△582,999
株主資本合計	22,935,109
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	280,496
為替換算調整勘定	1,306
退職給付に係る調整累計額	1,373
その他の包括利益累計額合計	283,176
新株予約権	172,693
非支配株主持分	802,919
純資産合計	24,193,899
負債純資産合計	52,269,836

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	33,729,059
売上原価	26,885,548
売上総利益	6,843,510
販売費及び一般管理費	4,484,883
営業利益	2,358,627
営業外収益	
受取利息	6,762
受取配当金	14,346
投資事業組合運用益	30,781
その他	55,320
営業外収益合計	107,211
営業外費用	
支払利息	44,833
支払手数料	82,551
持分法による投資損失	2,587
その他	30,062
営業外費用合計	160,034
経常利益	2,305,804
特別利益	
投資有価証券売却益	18,142
段階取得に係る差益	11,732
その他	1,059
特別利益合計	30,934
特別損失	
減損損失	23,587
関係会社整理損	12,979
賃貸借契約解約損	19,091
その他	2,835
特別損失合計	58,493
税金等調整前四半期純利益	2,278,244
法人税、住民税及び事業税	1,005,285
法人税等調整額	73,608
法人税等合計	1,078,893
四半期純利益	1,199,351
非支配株主に帰属する四半期純利益	9,354
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,189,996

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	1,199,351
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	8,555
為替換算調整勘定	604
退職給付に係る調整額	△238
持分法適用会社に対する持分相当額	2,914
その他の包括利益合計	11,835
四半期包括利益	1,211,186
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	1,202,720
非支配株主に係る四半期包括利益	8,466

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2,278,244
減価償却費	420,500
減損損失	23,587
のれん償却額	152,934
貸倒引当金の増減額(△は減少)	31,111
賞与引当金の増減額(△は減少)	15,240
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△67,328
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	19,896
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△35,234
受取利息及び受取配当金	△21,109
支払利息	44,833
支払手数料	82,551
投資有価証券売却損益(△は益)	△18,142
売上債権の増減額(△は増加)	△2,782,786
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,070,133
仕入債務の増減額(△は減少)	△878,742
未払金の増減額(△は減少)	△336,652
未払消費税等の増減額(△は減少)	284,637
前受金の増減額(△は減少)	1,354,951
その他の資産の増減額(△は増加)	178,737
その他の負債の増減額(△は減少)	336,308
その他	88,048
小計	101,452
利息及び配当金の受取額	20,899
保険金の受取額	4,797
利息の支払額	△45,314
法人税等の支払額	△407,540
営業活動によるキャッシュ・フロー	△325,706
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△459,021
無形固定資産の取得による支出	△275,632
投資有価証券の取得による支出	△135,300
敷金及び保証金の差入による支出	△119,694
敷金及び保証金の回収による収入	63,998
その他	△19,155
投資活動によるキャッシュ・フロー	△944,805

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,896,641
長期借入れによる収入	20,000
長期借入金の返済による支出	△976,512
リース債務の返済による支出	△74,206
配当金の支払額	△274,617
ストックオプションの行使による収入	71,106
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△120,958
手数料の支払額	△85,449
その他	△22,330
財務活動によるキャッシュ・フロー	433,674
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,132
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△841,969
現金及び現金同等物の期首残高	3,155,905
株式移転に伴う現金及び現金同等物の増加額	4,975,139
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,289,075

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、共同株式移転の方法により、平成29年1月4日付けで㈱AOI Pro. と㈱ティー・ワイ・オーの完全親会社として設立されました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が5,000百万円、資本剰余金が12,107百万円、利益剰余金が6,410百万円、自己株式が△582百万円となっております。